

**(23) 大学改革委員会****① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

大学改革委員会は、教育研究評議会の専門委員会として、学校教育学部及び大学院学校教育研究科における教育・研究の在り方に関し、改善・改革を図ることを目的として、平成18年2月に設置された。

**イ 組織の構成及び構成員等**

大学改革委員会は、理事（非常勤を除く。）、学長が指名した副学長、学長が指名した教授又は准教授（講師及び助教を含む。）、事務局次長、その他学長が指名した者若干人から組織されており、平成27年度は計19人の構成とした。

**② 運営・活動の状況****ア 委員会等の開催状況**

平成27年度は以下のとおり14回開催した。

- ・ 第73回 平成27年4月15日（水）
- ・ 第74回 平成27年5月13日（水）
- ・ 第75回 平成27年7月1日（水）
- ・ 第76回 平成27年7月29日（水）
- ・ 第77回 平成27年9月3日（水）
- ・ 第78回 平成27年9月30日（水）
- ・ 第79回 平成27年11月11日（水）
- ・ 第80回 平成27年12月2日（水）
- ・ 第81回 平成28年1月5日（火）
- ・ 第82回 平成28年2月3日（水）
- ・ 第83回 平成28年3月4日（金）
- ・ 第84回 平成28年3月12日（土）
- ・ 第85回 平成28年3月15日（火）
- ・ 第86回 平成28年3月21日（月）

**イ 審議された主な事項**

平成27年度の主な審議事項は次のとおりであった。

- i) 第3期中期目標期間における大学改革
- ii) 「21世紀を生き抜くための能力」の整理

**ウ 重点的に取組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等**

- i) 第3期中期目標期間における大学改革

第3期中期目標期間中の大学改革について、学長から示された改革構想に基づき、具体的な検討を進めるため、本委員会に専門部会を設置し、検討を行った。特に大学院改革の方向について、中央教育審議会答申等や文部科学省との意見交換内容を踏まえ、重点的に審議を行い、平成28年度より新たに設置される、学長を議長とした「大学改革戦略会議」において、具体的な検討を進めることとなった。

ii) 「21世紀を生き抜くための能力」の整理

本学が第3期中期目標において目標の一つとしている「21世紀を生き抜くための能力」について、その意義や構成要素等について整理するため、特に中核となる「思考力」の捉え方について、カリキュラム企画運営会議とも協力し、各コース・科目群において検討を行った結果を、『「21世紀を生き抜くための能力」の「思考力」の捉え方（内部資料）』としてとりまとめ、教員間での共通認識を図ること等を目的に、すべての大学教員へ配付した。

**③ 優れた点及び今後の検討課題等**

**ア 優れた点**

今年度は「重点的に取組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等」で述べたとおり、

- i) 第3期中期目標期間における大学改革
- ii) 「21世紀を生き抜くための能力」の整理

について、並行して検討を進め、「第3期中期目標期間における大学改革」については方向を決定し、「21世紀を生き抜くための能力」の整理については、内部資料の作成により今後の検討につながる成果を示すことができた。

**イ 今後の検討課題**

平成27年度限りで大学改革委員会が廃止となり、平成28年度に新たに学長を議長とした「大学改革戦略会議」が設置されることとなった。

以下の検討課題について、「大学改革戦略会議」で取り組んでいく必要がある。

- i) 第3期中期目標期間における大学改革

「第3期中期目標期間における大学改革」について、具体的なイメージや取組内容等を、速やかに検討する。

- ii) 「21世紀を生き抜くための能力」の整理

「第3期中期目標期間における大学改革」に関連し、「21世紀を生き抜くための能力」を本学カリキュラムに落とし込んでいくため、より具体化する作業を行う。